

県央ブロックごみ処理施設整備予定地選定の進捗状況について

令和3年2月12日
環 境 部

盛岡広域8市町及び一部事務組合（5組合）で構成する「県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会」（以下「協議会」という。）は、既存のごみ焼却施設（6施設）を1施設に集約化することとし、当該集約化に係る新たな施設整備予定地の選定を進めているが、進捗状況は次のとおりである。

1 整備予定地選定の経緯

県央ブロックにおける新たなごみ処理施設の整備予定地の選定については、平成29年5月に整備候補地4か所を公表後、各候補地で住民説明会や懇談会等を開催し、平成30年8月には、各候補地の状況を踏まえ「都南工業団地付近」及び「盛岡インターチェンジ付近」を地域住民や関係者との協議を優先的に実施する候補地とした。

平成31年3月25日に開催した協議会では、各候補地に係る「地域住民や関係者の意見等」、 「整備の確実性」及び「整備運営上の諸条件」の要素を総合的に判断し、「盛岡インターチェンジ付近」を最も有力な候補地とし、以後、同候補地で住民説明会、懇談会等を開催するなど、地域住民や関係者との協議を継続して行ってきた。

また、令和2年2月27日に開催した協議会では、「盛岡インターチェンジ付近」において地域との協議を継続することとし、整備予定地の決定については、今後、慎重に、かつ、総合的に判断するものとした。

2 地域住民への説明等の状況

これまで実施してきた住民説明会、懇談会、他都市の施設見学会等を通じ、地域住民や関係者に丁寧に説明し、意見交換を重ねながら、ごみ処理広域化や最新技術を導入したごみ処理施設への理解の浸透に努めてきており、廃棄物エネルギーを利活用した地域振興やまちづくりに期待する声も寄せられている。

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染防止対策のため、多人数が集まることが難しい状況であることも勘案し、次の取組により住民への説明に努めている。

【令和2年度の取組内容】

時期	取組内容	対象	部数
6月中旬	広報もりおか（6月15日号）に併せて、廃棄物エネルギーの利活用を含む「土淵地区のふれあいと賑わいのあるまちづくり」の現況を説明する資料を配布し、まちづくりの取組に対する理解を深めていただくよう努めた。	土淵地区 (各戸配布)	1,585部
7月上旬 ～ 8月下旬	ごみ処理広域化への理解を深めていただくことを目的として、「きれいなまち推進懇談会」の参加対象者である市内全域の町内会関係者等に、ごみ処理広域化の取組状況などを説明する資料を配布した。	きれいなまち推進員, 町内会長	814部

時期	取組内容	対象	部数
8月上旬	広報もりおか（8月1日号）において、ごみ処理広域化の取組状況、全国の特徴的なごみ処理施設の事例等を説明する2ページの特集記事を掲載し、ごみ処理広域化や施設整備について広くお知らせした。	市内全域	143,810部
11月中旬 ～下旬	住民説明会等で寄せられてきた意見・質問に対する回答や考え方などを、図表やイラスト、画像等を活用しながら、分かりやすく説明する内容の「ごみ処理広域化や施設整備に関する冊子」を作成して配布・回覧し、これまで住民説明会に参加できなかった方々にも、ごみ処理広域化や施設整備への理解を深めていただくよう取り組んだ。 また、他市町では回覧や公共施設等への配架をするなど、県央ブロック内の住民への説明を広く行った。	土淵地区・ 太田地区 (各戸配布)	4,988部
		市内その他 地区 (各戸回覧)	10,459部

3 地域住民や関係者からの意見等

令和2年11月に配布・回覧した「ごみ処理広域化や施設整備に関する冊子」に対して寄せられた主な意見、質問等は、次のとおりである。

【冊子に対して寄せられた主な意見、質問等】

- ・ 地域の総合的な発展に結びつくなら、施設整備に賛成する。
- ・ 冊子はこれまでの説明と同じ内容。説明は十分である。早く決めるべき。
- ・ 他市町ではごみの分別が異なっており、広域化に向けて分別の統一を住民に指導できるのか。
- ・ 市内への施設整備については理解するが、盛岡インターチェンジ付近は渋滞発生への心配がある。
- ・ 盛岡インターチェンジ付近を候補地から除外し、県央ブロックのごみ処理広域化計画を撤回して処理施設の分散立地と各市町での自区内処理を行うべきである。

4 今後の予定

令和3年3月開催予定の「県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会」において、これまで地域住民や関係者から寄せられた要望、意見等の内容、及び地域の状況について報告し、協議を行う予定としている。